

G01 小森造園

(株式会社SOTO)

〒381-0103
長野市若穂川田3207
TEL 026-282-2139
zouen-komori.jp



対応可能な施工

造園設計・施工

植栽管理(メンテ)

構造物造作

電気・水道工事

施工エリア／北信・東信・中信・南信・県外

PROJECT: 石とともにある庭



三代目代表／小森 穂高 さん

祖父の代から掲げる「住まい手が長い時間を積み重ねられる庭」を信条に、技術と知識を受け継ぐ庭師。本格的な日本庭園から自然風な雑木の庭まで、施主とのコミュニケーションを重視し、暮らしや家族の成長に合わせた庭を提案している。

空白から余白の美へ。
山の気配が満ちていく
雑木の庭

家を建て直した際、敷地にぽっかり空いたスペース。外からの視線が気になるうえ、造成時に出た石も放置されたままでした。

「視線をやわらげ、この大きな石もなんとか生かせないだろうか」。そんな想いから庭づくりが始まりました。

SOTOの小森さんが掲げたコンセプトは「背後に広がる里山の景色をそのまま降ろしてきたような庭」。木々や下草にはできる限り近場

の山に自生している植物を選定。ヤマボウシ、イロハモミジ、コハウチワカエデ、アオダモ、アオハダ、サンシュユ、ソヨゴ、ダンコウバイ、アブラチャン、リョウウブ、ヒメシヤラ、シロモジなど、山の気配がそのまま庭へと続いていくような植生を目指しました。

大きな石は石割り用の「セリ矢」を打ち込んで小割りに。柵にはパイオネストの技法を応用し、落ち葉や木屑で仕上げ、枝で固定して風で飛ばされない工夫も。素朴な風合いが景観に溶け込み、庭と周囲の風景をやさしくつないでいます。

そこにある素材を生かし、身近な自然に学んだ庭には、いま山の気配が静かに満ちています。

